

平成29年度 第1回北海道紋別養護学校 学校評議員会の概要

6月29日(木)に今年度の第1回学校評議員会を紋別養護学校で開催しました。その概要についてお知らせします。

1 授業参観

紋別養護学校の中学部保健体育「球技」の授業について、「自ら活動できる授業づくり」の視点から参観していただき、下記のような御意見をいただきました。

- ・ボールを蹴る位置を変えるなど、個の実態に応じて工夫がされていた。
- ・ボールが当たるとダンボールが倒れるなど、教材の工夫がされていた。
- ・常に大げさに褒めると、生徒が褒められることに慣れてしまう。賞賛の仕方に工夫が必要ではないか。
- ・仲間同士で行う活動も多く取り入れる必要があるのではないか。

2 学校経営方針の説明

【重点教育目標】

目的と根拠を明確にし、「見やすさ、聞きやすさ、わかりやすさ」を追究することにより、学校力をより一層向上させる。(何のために、どうやって、何をめざして)

3 平成29年度の教育活動について

○紋別養護学校の教育

- ・地域と連携した学習、社会体験の充実
(地域の環境整備、地域の福祉会館の清掃、砂入りペットボトルの作成・配布)
- ・卒業後の社会生活に向けた学習の充実
(2週間の現場実習、職場体験学習)
- ・卒業後の地域生活を見据えた進路指導
(生活の場、就労の場の課題)

○紋別養護学校ひまわり学園分校の教育

- ・地域、関係機関との連携及び地域支援の充実
(ぽっかぽか、ひまわり学習会、研修会等の実施)
- ・地域資源を活用した双方向的活動の充実
(清掃業者による実技講習、地域の環境整備、自動車学校と連携した交通安全教室の実施)
- ・重点指導目標及び各学部の重点課題に基づいた授業の充実

4 評議

【主な内容】

- ・指導力の向上はもちろんであるが、教師としての姿勢も大切である。教師の子どもへの関わりが丁寧で暖かみを感じる。
- ・学校と寄宿舎の連携を徹底し、保護者からの情報を共有しながら指導することが必要である。
- ・教師は子ども達の「師」である。専門性をさらに高めて子ども達の充実感、満足感に繋がる指導を期待する。



第2回学校評議員会は、紋別養護学校ひまわり学園分校で10月(予定)に開催します。